

<報道発表資料>

平成23年3月25日

農林施策

放射性物質の農産物への影響調査について（第2報）

埼玉県は、国の協力を得て、東京電力福島第一原子力発電所から漏れた放射性物質の農産物への影響調査を実施しました。3月24日に現地ほ場から農作物を採取し分析を行ったところ、本日、全ての試料で暫定規制値を下回る結果が出ました。

埼玉県では、放射性物質の農産物への影響を引き続き調査してまいります。

1 調査地域

さいたま市（岩槻区）、川越市、所沢市、本庄市、狭山市、三郷市

2 調査対象作物

ハウレンソウ	3検体
コマツナ	3検体
ミズナ	2検体
合 計	8検体

3 採取日

平成23年3月24日

4 結果判明日

平成23年3月25日

5 調査結果の概要

	放射性ヨウ素	放射性セシウム
ホウレンソウ	710～1,100ベクレル	26～102ベクレル
コマツナ	660～1,000	16.2～32
ミズナ	130～990	42～55
(暫定規制値)	2,000	500

詳細は下記の表のとおりです。

6 分析機関

財団法人 日本食品分析センター多摩研究所

<調査結果>

分析機関：財団法人 日本食品分析センター多摩研究所

採取日：平成23年3月24日

判明日：平成23年3月25日

市町村	品目	放射性物質の濃度 (Bq/kg)			
		放射性ヨウ素	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 計
さいたま市 (岩槻区)	コマツナ	660	9.1	7.1	16.2
川越市	コマツナ	700	16	15	31
所沢市	ホウレンソウ	1,100	18	21	39
本庄市	ホウレンソウ	710	54	48	102
		950	12	14	26
狭山市	ミズナ	130	16	26	42
三郷市	コマツナ	1,000	18	14	32
	ミズナ	990	27	28	55
暫定規制値	野菜※	2,000	—	—	500

※ 根菜類、芋類を除く